令和元年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査の結果について

本調査は、文部科学省実施の「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」に基づき、神奈川県教育委員会が「令和元年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査」として独自に調査項目を加え、県内全公私立小・中・高等学校及び特別支援学校等を対象に実施しました。

なお、今回の調査から不登校は問題行動ではないことをより明確に表すために、調査名について、従来の「問題行動等調査」から「問題行動・不登校等調査」へと変更しました。

１　調査内容（調査対象）

（１）暴力行為の状況（公私立小・中・高等学校）

※神奈川県教育委員会独自の調査項目「暴力行為を５回以上繰り返す児童・生徒の状況」

（２）いじめの状況（公私立小・中・高・特別支援学校、県・市町村教育委員会）

※神奈川県教育委員会独自の調査項目「いじめの現在の状況（令和２年７月20日現在の状況）」

（３）長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公私立小・中学校）

（４）長期欠席・不登校生徒の状況（公私立高等学校）

（５）中途退学者等の状況（公私立高等学校）

（６）自殺の状況（公私立小・中・高等学校）

（７）出席停止の状況（市町村教育委員会）

（８）教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

＊小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

２　調査結果

（１）公立学校分　資料１（調査結果の概要１）及び資料２（調査結果の概要２）のとおり